

オン資トラブル事例アンケートに寄せられた主な意見

【Q11「負担が増えた」の内容】

- 増えた面、減った面がある。
整備体制加算の算定チェック、該当なしの場合の確認（増えた）
健康保険証の目視の確認を省略できる。ただ全面的には信用できない。
- ・当院は高齢の方が多く、機械の操作をいちいち聞かれる。
・小児医療証算はまだマイナカードに紐づいていないことを知らない。
・最後に高額療養費について聞いてくるが、知らない人が”はい”を押してレセコンの患者情報が変わってしまった。
- ・患者様が使用方法がわからず、横で説明しなければならない。
操作手順を機械の横に置くが、高齢者が多いので人が説明した方がわかりやすく早い。

ほか

15.感想、ご意見

【補助金不足】

- 「システム導入と同時にレセコン機種変更した方が便利」とレセコンメーカーの意見があり、悩んだ末に変更した。そのための費用がかかった。／システム導入し開始出来る状態にはしているが、度々トラブルの報道があるため、開設の届出をしていない。元来、義務化には反対であったが、補助金のため、止むを得ず導入した。高齢（74歳）のため閉院の可能性もあるが、具体的な日程が未定のため「義務化対象外」とはならなかった。
- 新規開業のため補助金をもらえていない。
- これだけ問題がおきて、医療を行う我々に多大な迷惑をかけていることに政府はどう考えているのか。まず本当の意味で責任をとってもらいたい。自院では、患者さんからの心配が多く、保険証で診てほしいという要望から使っていないのに、保守料と設置の代金は取られている。補助金もいつになるやら。
- ・補助金から足が出た上に補助金はいつ入るのか？3月31日申請済。
・毎月のメンテナンス 5,000円+2,500円
- システムの導入自体は補助金で賄ってはいるが、運用開始後に負担増になっている人件費などの補助は何もされていないので、実質的に負担がかかっている（足が出ている）状況。
- ※補助金対象外となったので、全額自費です
（意見）義務化するなら開業時期にかかわらず、一律補助金対象としてほしいです
- 2月頃、補助金を申請したが、入金がいつになるのか？連絡ないのでちゃんと振り込みされるのか不安です（同時に申請した10万円の給付金は3月に入金されました）
- レセコン業者が回線保守料として月額に上乗せしてきた
- （補助金を）まだもらっていない。

- オン資の導入を義務化しているが、使えないシステムを使用したくない。補助金だけで足りないし、維持費の面からも強制義務化はやめてほしい。
- オンライン資格確認などのデジタル化に伴い、当院では電子カルテの導入も行った為、補助金では賄えなかった。導入には補助金があるが、機械の故障などその後のメンテナンスは病院側の負担となることから、今後も多様なシステム導入の義務化を行なわれると経営負担が増していくのではないかと不安に思う。
- カードリーダーはパナソニックで申し込んだのですが、アルメックスしかなくて申し込みは受理されませんでした。パナソニックから○社製のカードリーダーを申し込んだので補助金の対象外となりました。製品の選択肢が少ないとはどういう制度なのでしょうかね。
- 強引な「義務化」には違和感を感じ、補助金で賄えず負担を強いられたが、保険証の入力の手間が省け、ルーズな患者の保険証の確認がスムーズで確実（今のところ）であるため、結果良かったのではないかと思う
- このシステムに最初から意義を感じていないので、補助金申請したかどうかも忘れてしまいました。システム導入のメリットが皆無なので、義務化には反対です。
- システムトラブルはなくなるし、補助金も義務化ならはじめにもらえればいいのに、わざわざ申請しなければならないのは面倒。そもそも余計な業務が増えただけ。
- 将来的には必要かもしれませんが、導入時のトラブルが多いと聞いています。また、回線の準備など補助金のみでは不足し、クリニックからの持ち出しになり辛いです。
- 早期にオン資導入を決めた医療機関の方が補助金が少ないという変なルール。積極的に導入して損をした、という感想でした
- 導入時、オン資補助金ですべて賄えると思っていたが
 - ・ 導入費用
 - ・ 月々のランニングコスト（ベンダーに月払い）
 - ・ 通信費、通信設備、改修費用など
 多額のコストがかかった割に、利用者少ない。
- 導入費用を全て補助金でまかなってほしい。

ほか

【メリットを感じない】

- 欠陥だらけのシステムかつシステム導入のメリット皆無と感じる人はたくさんいるはずで。何としても義務化を撤回させる必要があると思います。
- デジタル etc.IT 活用は導入したら終わりではなく常に進化していくものでその都度変更、バージョンアップの費用がかかる。その点をどのように考えているのか。たとえばマイナンバーカードでの読み取り機でスマホに入った保険証は読み取れない。メリットがあればそれでも皆導入していくが、今はめんどろなだけ。できれば導入したくない医療機関が大半だと思う。
- メリットは、今のところ感じられない。
- オンライン資格確認のメリットを全く感じません。業務負担増以外なし。

- 導入したことでメリットを何も感じていない。
- 5月からのスタートなので、まだシステムを使う方も少ないので一概にはいえませんが、まだメリットを感じてはいません。
- オン資を導入したことで受付・会計業務とともに動作が増えた。薬剤情報を仕入れても大して活用できるものではなく、メリットを感じない。患者さんから保険証としての利用登録が面倒でしていない、利用登録しても本人確認が面倒という声をよく聞きます。
- あまりメリットを感じないし、仕事が増えたり心配ごとが多くなった気がする。保険証を持ってきてくれば、従来通りで全く問題ない。
- 顔認証がうまく出来なかったり、暗証番号を忘れてたりで認証がスムーズにいかない事が多いと感じる。メリットは少ないと思う。
- **義務化により、廃院された全国の医科、歯科の先生方の実数を調べて下さい。そして、昨年10月、導入しなければ、「保険医取り消し」のおどしをかけた、厚労省の水谷課長に突きつけて、意見を聞いて下さい。オン資格確認のメリットは全く感じません。今まで通りの保険証で全く問題ありません。**
- 現場の立場で保険証を廃止される事は考えられません（完璧なシステムとは思えないので…）。完璧でない為、結局は保険証で確認等手間がかかる。保険証確認の方が絶対に良い！現状では、患者にも、医療機関にもメリットは何一つありません。
- 権力者にのみメリットがあるオンライン資格確認システムの導入を今すぐに止めてほしい。保険証を廃止しないでほしい
- システム上での表示、作動方法や診療報酬側の機器連携など不備が多く、導入のメリットを感じない事と、導入にあたっての関連機関での準備不足を認めない。患者側のメリットがない上、登録情報に誤りがあるなどデメリットの方が大きい。
- スタッフがつきっきりになるなど、システム導入で大変な事が多くなった。又、システムに対して、毎月、メンテナンス費用がかかるといわれた。費用がかかり、トラブルも多い様なので、導入に対してのメリットをあまり感じない。
- **手間が増えただけでメリットは何も感じていない。もっと体制が整ってから実施してほしい。**
- 導入費用や保守費用を医療機関が負担するのはいかなものかと思う。義務とするのであれば、負担はなくすべき。**窓口で資格喪失をはじめて知る患者様に説明をする手間が増えた。**マイナ保険証のメリットがあまり感じられない（患者様も、医療機関としても）。
- 当方の手間が増えただけ。メリットは現在はなし。
- マイナカードで他院を受診した時に顔認証ができず、暗証番号で通った。こんないい加減なシステムで、医療ができるのか！！窓口の負担が増えるだけで、メリットが感じられない。政治に不信感を感じる。このやり方は、弱者をいじめる方法で、高齢の方を切り捨てている

- マイナカードでの受付は、保険証と比較して時間を要するため特に**混雑時にはマイナカードの方へ「順番が遅くなる」と伝えてある**。実際には保険証を提示する方が多数で受付もスムーズでありオン資に何もメリットを感じない。まだメリットがあったと思えることがない。レセコンもデータが重くなってしまい、動きが遅くて今までスムーズだった受付がそうではなくなった。メリットを感じられない。
- 見切り発車で義務化され、利点を感じることもよりも新たな負担の方が多い。ダウンロードできるお薬の情報は最新のものがなかったり、就職転職時の切り替えのメリットもわからず、行政と関係業界で対策のご検討をお願いするとともに、保険証の廃止は中止していただきたいです。
- メリットのみでの強調でデメリットの説目や、トラブル時の責任の所在が明確ではない。マイナンバーカードと同じようになるのでは。
- メリットを感じない。やたらと「登録」という言葉を使う人が多い。**一度機械に通せば、この先保険証を持ってこなくて良いと思っている人が多すぎる。毎月確認が必要なものである**という点を強調してほしい。使わせようとしている割に説明が足りない。病院に丸投げしないで下さい。
- もっと全体的に地盤を整えた上で義務化をして欲しい。行き当たりばったり感が否めないし、無理矢理進めている感じがする。
無理矢理するほどのメリットがあるとは思えないのが現状。また、在宅医療などでも今後やるようになると運用などを考えても、メリットがあまりわからない。

ほか

【システム・運用に不安】

- システム導入し開始出来る状態にはしているが、度々トラブルの報道があるため、開設の届出をしていない。
- ・オンライン資格確認システムのログインIDは全ての医療時間で同じとのこと。PWは変更するし、電子証明つきでログインしているから大丈夫との説明だが不安がある。
- ・システムがしっかり整備されてから、義務化すべき。
- ・システムトラブルや機器不具合がある時もあるので両方持ってくることをおすすめしている。今後保険証をなくすのは危険だと思います。
- ・国が決めたシステムの義務化であるが、患者から苦情を言われるのも対応で業務負担が増加するのも受付担当となっていて、もう少しシステムの問題がない状態になるまで義務化を遅らせることはできなかったのかと思っている。
・読み込んだ保健情報に誤りが多い。保険者への変更依頼を患者本人がしなければ変更ができないと言う保険者もいる。入力された情報の精査確認を行わずに本システムの運用開始をなぜしてしまっているのかと思っている。
- PCが故障した時に即日復旧が不可能であり、10割会計で対応が恐怖でしかない。経営が成り立たない。その時も、後日の返金対応も膨大な手間である。システムがダメな時のバックアップの手段が欲しい。

- ・今のままのシステムでは（リスクを）感じるが、改修に早急に進めるべき
- ・時代の流れ、世界の状況をみても、オン資・マイナンバーは必須であり、早急に進めるべきと考える。但しそれは高度なシステム、セキュリティーがあってこそ。現状のような誤りを早急に正して進めてほしい。
- いずれは資格確認システムが各診療所に導入されることになろうが、今のトラブル続きの状態であると医療権はおろか、患者さんからも信頼を失うことになりかねない。トラブルの際は迅速な対応（コストかからず）を切に願う。
- 万が一システム障害が起きたらどうするのか、寝たきりの方はどうするのか、認知症の方はどうするのか。現場（特に病院、クリニックの受付）任せにするのではなく、しっかり考えてから導入してほしい。
- **エラーやトラブルの際、コールセンターにつながるまで30分くらいかかりつながつても分からないので保険者へTELして下さい、保険者も分からないのでコールセンター（マイナポータル）へTELして下さいとたらい回し。時間も手間もかけても解決しないのはどうかと思う。きちんとシステムを整備していただきたい。**
- オン資のシステムを強制することは、間違いだったと思われる。今からでも遅くないので、保険証と併用で運用すべきである。政府の強引な態度には腹が立つ。
- オン資の導入を義務化しているが、使えないシステムを使用したくない。補助金だけで足りないし、維持費の面からも強制義務化はやめてほしい。事務員の仕事がかえって増えて窓口業務が大変になり負担。保険証が廃止されたらこのシステムでは無理です。義務化を保険医に課して従わない場合、保険医を取り消すのはおかしい。医療が崩壊する。Q13の補足：明日（5月31日）工事終了予定
- オンライン資格確認システム制度に不明点が多く理解しづらい。患者様がマイナンバーカードを使うことに不安な声が多々ある。
- オンライン資格確認システム導入の初期から申し込みしていたが、運用開始がつい先日。（2023年4月1日～）約2年の月日がかかった。まず、申込み殺到によるNTTスタートパックの品薄&半導体不足→システムベンダーから連絡が途絶える→何度も連絡試みるが、進まず→1年半後ようやく工事日決定→運用開始後、顔認証リーダーの不具合（約1年半前に届いていたもの）→初期不良だった為交換→現在、再開できていない。補助金申請もまだ。ものすごく時間がかかっている。
- オンライン資格確認システムの「義務化」にもかかわらず、一部の公務員（自衛隊員など）がひもづけされていない。そのことを国は医療機関に周知させる必要があると思う。
- オンライン資格確認システムは特に問題を感じないが、電子処方箋は必要性をみてない
- オンライン資格確認システムを利用しない事で患者さんに加算されるため、持参した方には何とか利用できるようにと、認識してくれない装置を何回も立ち上げなおしたりと、受付業務がかなり煩雑になっています。

- オンラインシステムについて、リスクを感じているのは大半が高齢者のように感じる。また、当院のような紙カルテの医療機関では、どうしても業務負担は増えてしまう。業務が増えているのに収入が減るという現状は、改善されると助かります。
- オンラインで資格が確認できるのは良いと思うが、マイナンバーカードにする必要はなかったのではないかと思う。保険証をなくすと、訪問診療はどうすればいいのか、マイナンバーカードを紛失してもすぐ手続き出来ないお年寄りも多いし、緊急の治療の必要がある場合はどうすればいいのか、もっと現実的に即したシステムにしてほしかった。
- オンライン資格確認システムに関して、保険者との温度差を感じる。医療証や、限度額証の情報は現物確認なのでわかりづらい
- オンライン資格確認では、保険証の提示のように瞬時に資格確認することが出来ない。**かかりつけ患者に高齢者が多く、デジタル化が難しい。1人1人がカードリーダーの操作に時間がかかる。**システムにトラブルが生じると、資格確認が行えないのが患者1人ではなく来院した患者全員となり、その対応が本来の診療業務の負担になることが懸念される。また、システムの修復にも時間と労力がかかる。
- オン資のシステム自体は時代に合っているのだろうと思うが、ひも付け先の登録ミスや、レセコンのトラブル時の動きやシステムの動作をこちらが把握し、メーカーもまだまだ改善が必要なところを改善するまではお互いの負担は軽減せず、時間がかかるものと思う。
- 機械は来たが回線が●にはまだできない。見通しは立っていない。システム導入は反対
- 記入したいことは山程あります。「**マイナ保険証**」が**どういうものか**を**知らずに使っている（持っている）患者さんが多い**と思います。受付にもかなり時間をとられ、このシステムへの不信感も多く、「**できたら保険証をお願いします**」と**患者さん**に**お願いすること**もあります。
- 義務化は大反対。システムエラーやセキュリティーの問題もあり、まして、あと何年仕事を継続するかわからないのに、不必要。レセプトオンライン化もしたら、廃業するか、保険診療はしない。マイナンバーカードも義務化でないのに、おかしい。
- 現段階では大変と感じますが、数年後にはこのシステムでよかったと思うであろう！と期待します。
- 高齢者が多いため、マイナンバー対応する場合は付き添っての説明等の負担が増えました。システムの入力がおかしいため、確認することにも負担があります。
- 高齢者が利用するには難しいように感じます。（例えば顔認証ができていなかったときは暗証番号に切り替わりますが、正しく入力できない等）正しくシステムが動けば便利なようにも思えます。
- このアンケートでオン資システムが不具合が起きた時の想定を知り、初診の方の時とても心配になりました。対応を考えておきたいと思います。
メリット：国・後期の資格割合、住所が分かり、とても助かります。
デメリット：社保まだつながっていないところがあるので万能でない不完全なシステムだと思われる。特に警察、国保連合の保険証が繋がっていないことに驚いています。

- このままだとオンライン認証システムをしてもいざと言う時の為にはやはり保険証の帯同が必要かと思われます。
- **こんなに負担のかかることを義務化するなんて誰のためなのか。潤う業者のためなんだろう、と思わずにはいられない。煩雑な手続きにかかる手間と時間、この先継続的にかかるコストを考えると全くありがたくないシステム。マイナカードのトラブルもこの先まだまだ出るだろう。オン資廃止が出来ないならせめて義務化をやめてほしい。**
- 市（保険者）毎に入力の仕方が違うため、入力の不備が多い。ふりがながない、スペースが多く枠内におさまらない、住所が全く違う等。そちらが改善されたら非常に良いシステムだと感じています。
- 資格確認が即時出来るのは請求間違いを少なくできるので便利ではあるが、機械の不具合など予期せぬ事態となったときの対応方法や責任問題、利用者側の理解不足、受付時の混雑等、現状デメリットの方が大きいように思う。システム完成や周知が済むまでは、紙保険証との併用を続けた方が良い。保険者組合によって服薬情報や検診データの開示内容（量）が違うので統一して欲しい。
- **資格システム導入後トラブルが多く、受付の負担が増えた。お年寄り、暗証番号が分からず、3回間違えて使えなくなったりと受付するのに時間がかかり、大変だった。**
- システムが安定すれば業務は減っていくように思います。
- システムがきちんと運用できていることを確認したうえで義務化の話が出るのであればいいが、今回は乱暴すぎる決定である。システムの分、スペースが取られるし、患者やこちら側にも手間を増しているだけかと思われる。資格の誤入力でエラーが見つかったのを保険者のせいにして議員、大臣もいがかと。政府、厚労省の失策です
- システムがまだ正常に機能していないので、早急にその対策をすべき。保険証はなくすべきでない。
- システム自体か、不備が多すぎる。使用者がまだ10名程度なので何とかなっているが、このまま多くなると診療が進まなくなる。
- システム導入が性急すぎる。
- システム導入し、便利になったかと思ったのですが、トラブル多く、マイナンバー保険証に番号等が載っていないため初診の方はどこに問い合わせようか等不安があります。またオン資の加算も削除するためには、当システムで一度画面を開く必要がありますが、当日の診察で必要がないと先生が開かないこともあります。患者様は安くなるはずと見込まれているので、事務の方で説明したり、先生に聞いてもらったり、よけいに手間がかかります。また、**情報開示不同意なのになぜか見れてしまう**のも、不信感を持っています。義務化で紙カルテの先生方は辞められていると聞きます。田舎の診療所はなくなったら大変です。こんなシステム、考え直すべきではないでしょうか？せめて保険証だけは残してほしいです。
- システム導入する事を急ぎすぎだったのではないのでしょうか。整備が全然整っていないまま始まって、困惑しています。

- システムに何のリスクもないのなら導入した方がいいが、紐づけが間違っていた際に、医療機関の責任になるのは困る。
- システムに不具合が生じたときに早急に回復できるように対策を立てていただけると助かります。患者様にご迷惑をかけない体制づくりをお願いいたします。
- システムに不具合が生じると機械のメンテナンスなどかえって時間と費用がかかる。
- システムの運用・導入に際し、こちらが負担額が増えるのはどうかな…と思います。
- システムの確認作業が万全であれば義務化も良いと思うが、結局確認時に不備があるところからも「当てにならない」となるし、患者様にも多少なりと不快な思いをさせる事もあり、これからマイナカード一本化への不安しか感じない。
- システムの更新中？更新日が終日であったことがあり、その日はすべての患者様に保険証を提示していただいた。
- システムの保守料が負担になっております。土曜日に（日祭日）不具合が起きると、患者様に謝ることしかできません。マイナで個人情報が見えるのではと聞かれ、対応に時間がかかります。
- システムの不具合が出た場合の患者さんへの負担をどうにかしてほしい。患者自身問題ないのに一時的に10割負担はどうかと思います。
- システムを導入すればトラブルの多発が予想され、混乱は必至かと思います。健康保険証の廃止はできないものと考えており、強く反対します。
- システム上の情報漏洩などの重大な問題が起きた場合の責任問題が医療機関にも存在する場合がある法律は、独裁国家のやり方です。
- 世界の潮流として、オンラインシステム等はやむを得ないことでしょう。国民としては負担になりますが。
- 誰のためのシステム？
- 点数システム改正時のコンピューター修正が煩雑。マイナカードからの情報が同じ保険証でも微妙に違うため、結局保険証実物と合わせて確認が必要なことが多い。暗証等手入力が必要な情報も多い。確認の手間が減った感じがまだない。
- 当院は、精神科単価病院のため、患者様が利用できるのか不安があります。また、保険証のみシステム確認のため、公費受給者証は現物確認のため、作業が増えます。
- **当院は発熱を診る医療機関です。顔認証のシステムの稼働状況以前にもっと困ることがあります。顔認証とパソコンをつなぐコードは1mと決められているので入口に設置せざるを得ません。発熱の人は患者さん入り口とは全く逆の裏の入り口から入ってもらうのですが、そこでマイナンバーカードを出されても（普通の患者さんがいる入口に来てもらわないと確認できないので）対応できません。**これから先も未知の感染症が起こらないと言い切れません。医療従事者と普通の患者さんを守るためにも保険証は別のカードで発行すべきかと思えます。
- 当科ではオンラインシステムの導入はしていませんが最近の新聞紙上でかなりのミスが見受けられますが今後の動向に危惧を感じますが…

- 導入後、返戻が減ると思っていたが、思いのほか返戻は減っていない。限度額認定証も、患者さん自身が理解していなかったり、説明や確認が増えた。オンラインシステムのトラブルもニュースになってしまい、期待していた以上にイメージが悪くなった印象。
- とても便利なシステムだと思います。
- トラブル対応がスムーズにできる様なシステムが必要
- 非常にありがたいです。保険証チェックも楽なので、もっと多くの方に利用していただきたい。カルテシステムに医療証の読み取りが対応していなかった点が困りますが、それ以外は概ね良い印象です。DX化が全体的に推進されたら良いのと思います。
- 病院がオンライン請求をしなければ、窓口負担は変わらないのに、マイナンバーだと治療費全般が安くなるんだと誤解している患者さんが多くいる。実際は、初診と再診分だけ10円、20円少なくなるだけなのに政府は間違った発表をしている。他院での既往歴や処方内容をオンラインシステム上で患者からの閲覧拒否可能にしていたら意味がない。義務化は横暴だ！
- 不安定なシステムで義務化されている事に疑問を深く感じます。
- 不具合が多く、保険証とマイナンバーカードを持ってきてくださる様ご案内しており申し訳なく思います。システム導入のため電子カルテシステムの更新が必要で費用がかかりました。
- 訪問診療中心のため利用は少ないが、マイナンバーカードと保険証の紐づけにて事務の負担が増える（確認作業等）。現状ではシステムを信用できない。
- 保険証を忘れてもオンラインで資格確認ができる点、資格喪失している保険証を判別できる点に関しては良いと思うが、資格があるのに、「無効」と表示されることも多く、その都度保険者に確認するのが難点に感じる。マイナ保険証利用時には操作のわからない方につきそって説明するの必要があり、事務の労力が増えていることも難点。オンライン資格システムが不具合で使用できない時に、マイナ保険証しか持参されていない場合、どのように対応すべきか、悩み中。住所表記が半角・全角の違いだけで赤字（エラーあり）で上がってくることが困る。
- マイナンバーカードを義務化していないにもかかわらず、マイナンバーカードを取得しないと国民生活に支障が生じるように、マイナカードの用途を多様化していく政策は、不信感以外の何物でもありません。オンラインシステムは、患者が自分で受付をするシステムですが、高齢者には無理です。マイナカードで最大の懸念事項であったプライバシーの保護が、システムの不具合で守られていないことも判明しており、政治不信が高まるばかりです。国民を守るためにマイナカードは中止すべきです。
- 来院患者様が多いこともあり、オンライン資格確認システムのトラブル等により受付業務に支障が出たり、その都度他の患者様にもお待たせしてしまう事例があります。パソコンもすぐに確認できない等不具合もあり、課題が多くあるように思えます。
- 患者さんへの説明等で負担が増えている。システムが不安定な状況で、情報が確実か簡単に確認できないので、今後誤った請求などしないか不安。（実際に誤った請求をしそうになったことが何度かあった）

- **健康保険証を廃止すれば、システムダウンは保険医療の死を意味します。保険証廃止には絶対反対です。**
- 厚労省はオン資システムを導入しなければ、療養担当規則違反に当たるので保険医療機関取り消しになるとの脅しがあり導入せざるを得ない状況になった。国会を通さず閣議決定で独裁的に決められた。システム構築にもかなりの期間的ロスがあった。議員およびマスコミが正しく把握していない情報でメリットばかりが強調された報道が多く、現場では患者さんには実情を説明せざるを得なかった（マイナンバーカード提示ですべての医療機関で医療費が安くなる、お薬情報が閲覧できるなどの情報）。**ネットワークエラーが割合と頻繁に起こり再起動する機会が多い。顔認証が出来ず、なおかつ暗証番号を忘れていた患者さんがいて、資格確認ができず、結局健康保険証で確認した。**ベンダーに問い合わせと言いながら、なかなかつながらず、かなり時間を要してしまう。以上以外にも**トラブルについて枚挙にいとまがなく、ストレスを感じ、現時点で患者さんには健康保険証を必ず持参して頂くようにした。**健康保険証廃止などもっての外である。
- 在宅診療クリニックですが、在宅診療における整備の詳細を明確に提示しないにもかかわらず、義務化を進めてきた点には正直困惑が大きいです。医療形態（運用スタイル）の全てを考慮した形でオンライン資格確認システムを進めてほしかったと思う。独居の認知症の患者さんや、寝たきりの患者さんの保険証や公費受給者証の確認方法など、運用が考えられていないと思われてなりません。
- **資格なしとなっても本人は理解していないことが多いため、結局保険者に問い合わせする作業が増えただけだと思います。患者さん本人はいつも通り保険証を持って受診したのに、資格確認システムの不備で色々聞いたり待たせたりして申し訳ないと思います。**
- 従来の保険証は廃止すべきでない。往診患者も対応できないし、システムトラブルは必ず発生すると思われる。
- 拙速すぎる。トラブルが起こったときの責任はどこにあるのでしょうか？また、オンライン資格確認システムを導入しないと、保険診療をさせないというのは言語道断だと思いますがね。
- 多額の費用を投じたシステムにしては余りにもお粗末。**保険証交付後半年も経っているのに情報が反映されていないケースもあった。**各自治体の医療証等の情報は入っていないので、医療証で確認するしかない。だったら保険証で良いのでは？お年寄りが難しいと操作を頼んでくる事もあるが、受付の負担とセキュリティを考えると関わりたくない。
- 電子化の流れが止められないにしても、ミスをスムーズに修正しうるシステム構築を先行すべき。

- 導入準備中ですが、パソコンの設定等が煩雑で、設定に際して何度もトラブルがあり、上手く進みません。導入済みの知人の開業医の先生にも伺いました処、資格確認システムでマイナンバーカードを上手く読み込めない事も起きている様子です。さらに、医療事務 staff の負担は明らかに増しているとの事でした。

「義務化」に関して、2023年4月から全ての医療機関に義務化というのには、準備不足が否めまいと思いますし、「義務化」するべきではないと思います。そもそも、マイナンバーカードは「任意」ではないのですか？

保険証一体型という事は、「任意」ではなく「強制」ということになると思います。さらに、昨今の本人と保険証の相違などのトラブルの報道をみると不安も強く、オンライン資格確認システムは、出来れば導入したくありません。

ほか

【負担増への不満】

- 資格変更時のタイムラグが困る
医療証に対応していないので、全体として役立っていない。医療サイドにきびしい対応を要求するが、行政側の対応が遅い。不十分。ひどく負担がアンバランス。
早朝、夕～、土日と対応窓口がない。 保険者による電話問合せ窓口が365日24時間必要。
- 当院の光電話+インターネット回線で、現在電子カルテとオンライン請求できているが、オンライン資格確認を入れるとIpv-6に対応しなければならないため、光電話の基盤を交換するか、インターネット回線をもう一本引かなければならず、コスト増となることがわかった。それに対応する費用は病院が負担しなければならないのか？
工事しないとオンライン資格確認はできないそうなので、義務化となった今では「工事をしない=拒否」となり、国の強引なやり方に不満を感じている。最近オンライン資格を入れてもまた別のトラブルもあると聞く。とても無駄な投資となりそうです。
- 受診される患者さん方の年齢、地域、病院の規模などにより、必ずしも今回のシステムがすぐに必要とは思えないのでそもそも「義務化」の必要があったのか。また導入を急いだためデータ状の不備も多く負担が増えたとともに、患者さんがマイナンバーカードについて正しく理解できていない。
- 今までどおり保険証の方が保守料がかからず、義務化するなら経費がかかるので国に負担してもらいたい。外国人による保険証の使いまわしや期限切れなどがすぐにわかるのでその点は安心できる。
- 受付業務の負担が大きいです。高齢の方は特に毎回、画面と一緒に向かって、確認、説明をしながら操作が必要になり、不具合が起きるとそこで業務もストップしてしまうので、保険証が一番スムーズです。
- 受付や事務の負担は増えました（窓口へマイナンバーカードを置いてしまう方へ、説明をしなければなりません）。また、保険者様へ確認のTELを入れなければならない事もあります。保険証をなくす事には大反対です。

- **大きなトラブルがなく、1日数件なため、職員の負担増の感覚が現状ないが、今後、健康保険証が廃止になった場合、業務の負担増が心配される。**
- オン資の導入を義務化しているが、使えないシステムを使用したくない。補助金だけで足りないし、維持費の面からも強制義務化はやめてほしい。**事務員の仕事がかえって増えて窓口業務が大変になり負担。保険証が廃止されたらこのシステムでは無理**です。義務化を保険医に課して従わない場合、保険医を取り消すのはおかしい。医療が崩壊する
- オンライン確認のみでは大事な情報（負担割合等）がすぐに確認できずに、パソコン上に表示された情報だけで登録するほかなく、今まで画面上、目視保険証のコピー等で確認してきたことができずに非常に不安です。返戻が増える気がするし、保険証内容での返戻が来た場合、対処することができないと考えています。
- オンライン資格（マイナンバー）に反対されている患者さんへの対応等今までより負担時間が増えたことや、パソコン、資格確認の機械の動作がすごく遅いため無駄な待ち時間が増えた。
- 機器の操作が分かりづらいと感じることと、公費まではチェックできないこと、自動で登録されない点があること（負担割合など）。今までも使用していた保険登録なのに勝手に期限を切られてしまうことなど、気になるところは結構あります。
- 義務化は賛成するが、手続きや導入はベンダーにより差が大きく負担がある。
- **義務化を強行した事で NTT 東日本の設置工事が集中し、下請け業者のずさんな確認や工事で二転三転し、業務に支障があった。導入後、①カードリーダーを利用する際、スタッフがご案内しなくてはいけないので業務負担が増えた。②昨今のマイナンバーカードの入力ミス報道で更に不安が募り、初診の方のマイナンバーのみの確認では保険情報に不安がある。保険証の廃止は撤廃すべきです！！**
- 全てにおいて負担が増えているように感じています。患者様1人1人にカードリーダーの説明が必要で、時間も労力も負担が増えました。
- セキュリティ面が不安です そのリスク負担が医療機関に丸投げなのが不満です。
- 操作説明等の受付負担が増加した。
- 導入にあたっての作業等、休日出勤が発生したり負担が生じました。又、受診患者様が高齢の方が多いため、立ち会わないと使用する事ができず、保険証を受け取るだけの時と比べ、業務負担が増えました。
- **導入までの準備の負担が大きかった。ネット回線がスムーズに進まなかった。**
- トラブルが想定される。事務の負担増が懸念される。導入したくない。今準備中であるが
- 不具合の問題があったときに、確認先の電話がつながらず、すぐに対応できない。保険証を持っていなかったら100%負担してもらわなくてはならなくなるので、苦情となることが多くなる。
- 負担だけが増える気がする。従来のみで十分である。
- マイナンバーカードが読み込めない時の対応法の具体的な連絡先及び10割負担（その際）の知識の国民への説明の徹底。

- マイナンバーカードを使用する方が毎回ちゃんとかざしているか確認するのが大変。説明等負担も増えている。
- マイナンバーもありだが、保険証は永続的に発行してほしい。**不具合で患者さんから10割自費負担で一旦とることなど不可能。**
- 面倒。自己負担が増えて大変。
- 有効期限や負担率（割合）の詳細が出ないので、マイナンバー確認から見えたら助かります。
- 漢字が旧字体になって、資格不備ということで返戻になるとまた負担が増すし、それをいちいち保険者に確認するのも手間がかかる。
仕事ばかり増えて困る。さらに保険点数が減る。これは厚生労働省の掲げている賃金アップに医療従事者が該当しないということなのか？差別ではないのだろうか？厚生労働省って厚生省と労働者がひとつになったのに意見の一致はなされていないのか？
- 義務化は時期尚早、導入準備時点ですでにシステム導入や契約等医療機関負担多い。発熱やワクチン予約と同時期に患者さんから問合せも増えている。当診では公費併用や高齢者多く、導入後も受付での公費番号や保険証確認はなくならないため、二度手間となる可能性が高い。受付スタッフも少ないため資格確認ができなかった場合は説明が負担になると思われる。
- **高齢の方や障がいのある方などが操作する場合、負担になると感じた。**
- 最悪。時間の負担もお金の負担も強いられてメリットがない
- 事務作業や確認事項が増え負担が増えました。マイナ保険証の利用者は少ないにもかかわらず、トラブルが多い。
- 受付の負担が増えて、患者トラブル、診療への悪影響が懸念されます。
- 特に高齢の患者様が操作方法を理解できず受付負担が大幅に増えた。

ほか

【トラブルが多い】

- ・マイナンバーカードを自分で操作することを知らない方が多く、保険証と同じように窓口に出してきます。その辺の周知をもっとしてほしいです。
・システムトラブルや機器不具合がある時もあるので両方持ってくることをおすすめしているので、今後保険証をなくすのは危険だと思います。

- ・資格確認時「顔認証」のカメラの画角に入れない人が大変な思いをしている。（カードリーダーが動かせない状態にあるので）
 - ・資格確認時、「暗証番号」が見えないため入力できない患者がいる。また見えないので職員に代わりに入力をしてほしいと依頼されることもある。さらに入力時に大きな声で暗証番号を言いながら入力をしている高齢者もいるので、暗証番号が暗証番号である意味がない。
 - ・マイナンバーカードがスマートフォンに取り込んで使用できるようになるとのことだが、現在使用しているカードリーダーのカード挿入口にスマートフォンは入らない。
 - ・土日のトラブル発生時、問い合わせ先がすぐに対応できる状態ではないことが多く、すぐに対処できず困ることがある。
- PC入力（保険者登録）が少なくなり軽減はしましたが、その反面トラブルもあり、確認や患者さんとの対応で時間を要する事も増えてしまいました。
- 色々トラブルがあるようなので、もう少々様子を見ている状態。
- オンラインで他人の情報が入ることがあり、不安を感じる。また医療証は反映されず2度手間がかかる。住民票トラブルと同じように事務方では混乱がある。患者側からは混乱の状況が見えずにうまくいっているように思われるが、そうではない。
- 議論なき一方的、高圧的、強制的決定にはあきれてビックリ。IT・デジタル化に対応困難な中途半端な高齢医療者は閉院しろ！ということなんだと思う。直近では色々トラブルが起きているが、進め方が早急すぎるのが原因でしょう。今からでも前々に戻って再検討したほうがよい。
- **テスト中ですがトラブル多く不安です。（インターネット通じにくい、テストでスタッフのマイナンバー読み取ると住所が変…等）**
 - トラブル多いので中止してほしい。
 - トラブルが多いマイナンバーカードを利用出来ない場合を想定して、現行の健康保険証の併用を考えるべきである。健康保険証を有しているのにマイナンバーカードの利用で診療報酬に差が出るのは法律上納得出来ない
 - トラブルが多すぎる。保険証を廃止したら混乱は避けられないので廃止すべきでない。
 - トラブル続きで時間をとられ、導入の義務化には疑問を感じる。
 - トラブルや対応したいことがあった際に、コールセンターに連絡をしたが、どこにも対応してもらえなかった。コールセンターもすぐに繋がらず、業務に支障がでた。公費もマイナ保険証で対応できるようにしてほしい。
 - 不完全なまま強制導入したことに非常に不満を感じるし、この短期間でトラブルを生じている以上、これから先も増えると思う。
 - **マイナンバーカードに保険証を自分で紐づけするということが理解できていない高齢者が多く、「マイナンバーカード使いたい！」と言われ、さんざん説明した後、使えないこと発覚。時間がとられてしまいます。これだけ国のトラブルがあると、マイナンバーカードのおすすめできません。ただ患者さんからなぜ点数が違うのかクレームがあるといけないのでドキドキしながら説明している毎日です**

- マイナンバーのトラブルが多く発生してから、使用する方がおりません
- よっぽどのトラブルはないが、対応に人手が必要となり受付が滞る。保険証をお持ちの方はなるべく保険証で対応している（加算等はずらず、どちらで確認しても金額は変わらないようにしている）。
- 来院患者様が多いこともあり、オンライン資格確認システムのトラブル等により受付業務に支障が出たり、その都度ほかの患者様にもお待たせしてしまう事例があります。パソコンもすぐに確認ができない等不具合もあり、課題が多くあるように思います。
- 高齢者の割合が画面で確認できず、前回来院時と相違した場合、マイナ保険証のみでの確認では金銭トラブルに繋がる可能性がある、との意見がある。

【資格・入力情報不備】

- （小児科）資格がある方に“無効”の表示が出た場合、保険証がないと確認するのに時間を要する。または10割負担を請求することになり、患者さんとのクレームになることは明確。保険証を回収するのはシステムの制度をあげて2～3年後からにしていきたい。顔認証されないことが多い（子ども）。
- 「該当資格なし」がなぜ起こるのか、今回なくなるのか知りたいです。
- 「義務化」について疑問に思う。個人情報漏洩の危険を感じる。オンライン資格確認で閲覧できる薬情については直近のものではないため便利さを感じない。
- ・資格の変更があった時に、資格情報が的確にきちんと切り替わるのか不安。例えば新資格取得の当日にマイナ受付して保険情報が正しく反映されるか。
 - ・オンライン資格確認システムのログインIDは全ての医療時間で同じとのこと。PWは変更するし、電子証明つきでログインしているから大丈夫との説明だが不安がある。
 - ・オンライン資格での不具合で診療報酬減や返戻などの影響はないようにしてほしい。
 - ・たまにオン資でデータがかえってこない人がいる。ヘルプデスクに問い合わせてもガイドランスが長い。その後つながっても待たされる。オペレーターにつながらない＝ヘルプデスクが機能していない。
- ・資格変更時のタイムラグが困る
 - ・医療証に対応していないので、全体として役立っていない。
- ・パソコン操作に時間がかかる事と画面を見ながら資格確認する事で時間がかかってしまう。
 - ・資格取得日が表示されないの、表示してほしいと思います。
- ・保険証を確認したい。資格がないという理由で返戻になっても、健保に問合せが出来ない。
 - ・システムは患者様が自分で機器を使用しますが、時間がかかり、受付から出て、一緒に機器を使用しないといけないので、時間のロスになる。
 - ・パソコンに表示される部分には、負担割合が記入されていないので、これでいいのか不安がある。
 - ・健保で手続きが終わっていないと、やはりタイムラグがある。

- オンライン資格確認システムで新患登録が簡単になった利点もあり、完全否定ではなく保険者の準備の不備が目立ちます。完璧に頑張ってくださいましたら良い導入となると思います。
- **オンライン資格確認で表示された情報が信用できかねる。**患者様がマイナ保険証のことを理解しておらず、説明が大変。クリニック内でも情報共有が大変。
- オンライン資格の保険の資格に対してのタイムラグがかなりあり困っている。もっと早急の手続きをお願いしたい。
- オンラインでの資格確認と今迄通りの保険証での運用が混合しているため受付をする時間がかかるようになってしまった。
- オンラインメーカー、レセコンメーカー各々別の立場で連携ミスもあり、スタッフ休日出勤、導入までの手続き等大変でした。導入後も患者の半数は一人で資格確認できず、スタッフの心労あり。マイナンバーカード申請において、顔写真つきの証明書の無い方は、代理人がカードを受け取れず、ほとんどの寝たきりの老人がそうですが、マイナカードを取得できない（自治体で●かもしれません）。いろいろあります。
- オンライン資格確認が患者に浸透してないことや、資格確認が100%合っていないため、**資格なしや該当無しでも患者に10割請求出来ない。**
- **資格確認時、枝番・高額療養区分のエラーが一度に出ない為何度もクリックしている。支払基金の登録情報に異なる文字がある（例：高・小文字「っ」が大文字「つ」など**
- **資格確認できない保険（社保）が多い、保険切り替え中の対応方法が不明確、マイナンバーカードの保険情報が古かった場合、レセプトの返戻を受けたくない、国保の資格終了予定日が表示されない。**
- 資格確認は毎回必要と聞いていますが確認のログがない日の診療に関して（翌日の再診時持参しなかったなど）請求に制限が出たりするのではないかと心配しています。受診記録が対象者の居場所の確認推定など多目的に利用されてしまう可能性は…（※FAXが切れていて判読できず）
- 資格喪失後新たな資格取得までに時間がかかると聞き、その間に受診された時の資格確認をどうすれば良いのか。また前保険で確認がとれてしまった場合のレセプト返戻や保険の確認等が心配です。
- 特に資格喪失していないにもかかわらずエラーが出たり、確認が取れない事がある。外国の方の登録確認が出来ない事が多々ある。
- **フリガナの不備が多く患者様に都度確認が必要です。**またその不備を報告する窓口がなく、レセコンメーカーからもいずれも正しいものになると回答されましたが、今も患者様が受診されるたびフリガナのエラーが出ます。立ち上がりや資格確認が遅いのも困っています。
- 保険者によって登録されていない保険情報があったり、登録されるまでの時間が長かったりすると資格確認できないので困る

- 保険証が変わっても（資格が無くなっても）すぐには反映されず、意味があることなのか疑問が生じる。
- 保険証の資格の有無や性別等の間違いが確認できレセプトの返戻が減りました。ただ資格のある方でも「該当するデータは登録されていません」とメッセージが出る場合があり、不安な面もまだあると思います
- 保険者情報が正しく反映されていなかったが、患者さんが間違いなくこの職場で仕事をしているとのことなので、保険証資格有とした
- まだまだ、マイナンバーカードでの本人確認、資格確認は不十分です。当クリニックでは、マイナンバーカードで確認ができない場合を想定して、保険証もお持ち頂くようご案内しています。
- 該当資格がなかったりすることがあるので、保険証の変更や割数の変更がすぐに反映されているのか不安です。
- **漢字が旧字体になって、資格不備ということで返戻になるとまた負担が増し、それをいちいち保険者に確認するのも手間がかかる。**
- 機械の不具合の時は今まで通り保険証の提示がないと資格確認できないのでマイナンバーカードだけになるのは不安。
- 顔認証が出来ず、なおかつ暗証番号を忘れていた患者さんがいて、資格確認ができず、結局健康保険証で確認した。ベンダーに問い合わせと言いながら、なかなかつながらず、かなり時間を要してしまう。

ほか

【マイナンバーカードの対応困難】

- オンライン資格での不具合で診療報酬減や返戻などの影響はないようにしてほしい。
- 受付スタッフが一人マイナンバーカードの手伝いに回るため、仕事量が増えるのに、利便性がない。
- ・公費情報が確認できず、結局のところ保険証を確認しなければならない
- ・保険情報のラグ
- ・複数保険情報が出てくる方がいて困っています（国保と社保どちらも有効になりました）
- ・マイナ保険証の毎回のチェックは逆にめんどくさそうです（月1ではだめか？）
- ・住所が登録されていない事が多く、もともと手入力したものをうっかり消さないようにしている。

- ・保険証での確認であれば月1回の確認であったものが毎回マイナンバーカードでの認証をしなければならない。
 - ・受付時の時間コストがこれまでよりも大幅に増えてしまっている。医療よりも薬業の方がその負担増は如実に出ていると思われる。近隣の調剤薬局でも処方箋受付時に行列ができてしまい困っているとの声を、聞いたことがある。
 - ・患者からの苦情対応も業務負担を増加する要因になっている。患者はマイナンバーカードで何ができるのかを分かっていないことが多く、職員が説明をしても「そんなことしかできないのにこんなに面倒なことをしなきゃいけないのか？」と言われることもある。
- 保険証の不正使用や通名を防止、補助金等の配布の効率化をすすめるためには機械化は必須だと思う。でも何でももっと早くから考えておけば、使わない大きなノートPCではなく、カードリーダー一体型の機械を作れたのでは？カードに入れる向きも縦だ横だと。あと診察カードと一体化するのですか？
- **マイナンバーカードを医療機関で扱うリスク（悪用されたり、今後医療機関のハッキングも増えるのではないか？）。またカードの中身の取違など問題外であり、混乱ばかり起こして非常に不愉快である。間違っていた場合も結局相談されてしまうため、いい迷惑である。そもそもカードがアナログであることを考えてほしい。**
- 初めて機械を使う際には、高齢者等には使い方を説明しないとタイムエラーばかりするし、教えるには人員が必要で、混んでいるときには一人一人にかなり時間がかかる。タイムエラーするのも早い。何かを聞かれて答えている間にタイムエラーしてしまう。一度通しても次に来た時には「同じ操作をまた行うのが面倒だ」と患者さんから言われました。ただ顔認証だけすれば良いと思っている方もたくさんいるようです。警察の方がマイナンバーに保険証の紐づけができない理由もよくわからない。説明してほしいです。
- すぐにトラブルに対応できず、かなりお待ちいただいたり、確認が翌日以降になった方もいらした。ほとんどデータ不備であった。受診される患者さん方の年齢、地域、病院の規模などにより、必ずしも今回のシステムがすぐに必要とは思えないのでそもそも「義務化」の必要があったのか。また導入を急いだためデータ状の不備も多く負担が増えたとともに、患者さんがマイナンバーカードについて正しく理解できていない。
- 今、社会的に問題となっており、マイナと保険証、銀行口座のひも付けは見直すべきであり、一体化に賛成の方と希望しない方と選択制にすべきだと思います。また種々の問題点があり、紙保険証は存続すべきだと思います。
- 今までの保険証で大きな問題もなく、わざわざマイナ保険証にする意味がない。情報も更新されていないこともある。医療証と連携していない。当院は整形外科のため、**操作の苦手なお年寄りも多く、また患者数も多いため、マイナ保険証のみになると連日窓口が大混乱することが予想される**。「義務化」は反対。マイナ保険証を使いたい方は使えばいいし、保険証を廃止するべきではない。万が一システム障害が起きたらどうするのか、寝たきりの方はど

うするのか、認知症の方はどうするのか。現場（特に病院、クリニックの受付）任せにするのではなく、しっかり考えてから導入してほしい。

- 医療証が結び付いてほしい。マイナンバーではフリガナ表記がされない為手打ちになる。常用漢字でないものが●で表記される。設置場所が高い場所にあるため、子どもが顔認証するのが大変
- カードリーダーの設置後3週間あまり、利用したのは2名だけだった 特に高齢の方はマイナンバーカードの使用方法など理解していない方が多いです
- 患者さんから、結局マイナンバーカードリーダーでの「問い」を答えるのに、メガネがないと見えない！面倒だ！と嫌な顔をされ、また、事務もカードリーダーの「問い」は、もっと簡略化を望んでいます。顔認証又、暗証番号のみで済ませてほしい。
- 義務化は余りにも強引で納得できません。当院のような小さな診療所ではそもそも使用する方も少ないので、そのために毎月維持費をかける必要があるのか疑問です。トラブルも多いようですし、保険証を廃止してまでマイナンバーカードを作らせなくてはいけない理由がわかりません。様々な理由でマイナンバーカードを作れない人もいます。保険証はせめてこれまで通りにしていただきたいです。もっとより良い目的のために予算を使ってほしいと考えます。
- 経過措置中です。**後期高齢者の患者さんがほとんどなので、マイナンバーカードを持ち歩くことはすすめられません。**
- **健康保険証はセーフティーネットのため存続するべきだと強く感じます。**マイナ保険証・使用については大きな不安をかかえながら診療することになり真の医療の安全安心に反することだと強く思います。
- 現時点で大きなトラブルはありませんが、マイナンバーのみで来院された患者さんの保険者情報が確認されなかった場合の対処法を、確実にしてもらえたらと思います。
- **今後、マイナ保険証のみになったとき、機械の不具合等で読み取れなかった場合、保険証で確認がとれなくなるのは不安です。**
- 最近マイナンバーカードのミスが目立っていて心配。
- **在宅支援診療所ですが、在宅患者の資格確認をどのように行うのか？そもそも動けない方や身寄りのない方でマイナンバーの手続きができない方の対応や携帯確認機器の助成などはないのか。**
- **土曜日に（日祭日）不具合が起きると、患者様に謝ることしかできません。マイナで個人情報が見えるのではと聞かれ、対応に時間がかかります。**
- たびたび起こる不具合への対応が、多忙な時は大変。マイナ保険証に登録されている住所が、レセコンの患者情報欄のスペースに入りきらず途中で切れてしまい、再度患者さんへ確認になる。
- **当院でも以前に別の患者情報が出てきた事があります。**登録前に気付けた為大事には至りませんでした。マイナンバーカードで全ての個人情報が分かってしまう分、漏洩してからでは遅いと思います。

- 当院は高齢者が多く、マイナカードでの受付に手助けが必要な方がいる。また、カードリーダーの反応が悪く、時間がかかり、受付業務がスムーズに進まない。
- 発熱外来等、動線を別にしている場合、マイナンバーでの受付が困難となる。保険証は引き続き導入頂きたい。
- 保険証をオンライン化するのなら必要と考えるが、マイナンバーカードは税金やその他の用途に使用できるため大変危険です。他の国（イギリス、シンガポール etc.）でもなりすましなどの問題が出て一時中止になったりしています。現状のままではさらに大きな問題が出るでしょう。計画の縮小、中止が必要です。
- 保険の切り替えが間に合っていないことがあり、マイナンバーカードを持参してもらっても自費で請求することがあるので、退職・入職後の保険情報が一早く反映されるようにしてほしい。
- ほぼ使用していない（マイナンバーを持ってこない）。保険証と紐づけしていないので、患者に説明してもわかってもらえない。タイムラグがある。
- マイナンバーカードでは主の保険証の登録のみで（障）や（乳）の情報が紐づいていないと他院から聞いています。結局は保険証も確認することになり、手間がかかります。今回の導入は意味があるのでしょうか。
- マイナンバーカードと他人の保険証が紐付けられていたり、個人情報の漏洩のニュースを見ると不安です。当院は高齢の方が多く、マイナンバーカードを管理できるのか？カードリーダーでの受付が自分でできるのか？事務作業が増えることが予想される。透析患者さんに関しては障害者医療証や特定疾病を持っているのでカードリーダーで全てを確認することができず、カードリーダーを使用する予定はない。
- マイナンバーカードの安全性が十分に確立してない現時点で、来年秋に紙の保険証を廃止してしまうのは時期尚早では。転職して保険が変わる度にマイナンバーカードを変更するのでしょうか？
- マイナンバーカードの確認は現時点では少数であり、**個人情報**を扱うことに**大変に気を遣う**。カードリーダーの操作が**不慣れな方々にはどのように対処していくか模索**している。
- マイナンバーカードの操作をお一人で行えない方が多く、スタッフの補助が必要となり仕事量が増えたと感じた。
- マイナンバーカードの不具合を多くの患者さんが受付時に口にされていて、不安がまず大きい。その説明も申し訳ないけどかなりのタイムロスですがその時保険証の確認が本当に正しくできるのなら便利だと思います
- マイナンバーで1度やった方も、翌月から保険証にされたり、患者さん側は持っていても使用されない事が増えました。

- マイナンバー法案（従来の保険証廃止してマイナンバー一本化も含む）を本日5月31日に委員会採決、6月2日に参院にて可決・成立することにし、法案を成立後の6月5日に委員会にて集中審議という、不安の中にいる国民や私たちを馬鹿にした与野党揃っての茶番劇、もう信頼できるどころもなくなり、**閉院も視野に今後を考えます。**
- マイナンバー利用以外でも、保険番号から紹介できるため、保険証登録ミスが発見に一役かっています。
- まだマイナンバーを出して確認の方が少ないので、導入をもっと遅らせた方がよかったと思う。
- まだまだ、不具合が多く生じている状況で、『義務』とするのはいかなものか。時期尚早であると感じる。しばらくは手上げで良かった。また、マイナンバーカード自体も各種トラブルが発生している状況。そもそも、ポイントを付与しないと、申請数が伸びない時点でメリットを感じられない。このような状況で、保険情報等々が加わり、更に堅牢なシステムが必要である。**このようなシステムを個人院が使いこなせるのか、導入できるのか、少数派として省かれてしまう印象もある。**
- もっと便利になるかと想像していたが、実際にはかなり面倒な事が増えたようだ。オンライン資格確認にて保険資格を確認した時に、該当資格があるにもかかわらず、資格なしと表示されることが多い。患者様にも確認するため、不快な思いをさせてしまっている。また、マイナンバーカード読み取り時の「限度額適用認定証」の情報提供同意をしてほしい70歳以上の方が途中でカードを外してしまったり、70歳未満の方が街灯がないにもかかわらずそれに同意して最後まで選んでしまった際など**何かと口頭で確認しなければならない事例が多く、今まで以上に時間がかかってしまうことがある**
- **薬剤情報と特定検診のデータを見落として何かあった場合、責任を問われるのでしょうか？その確認に結構時間がかかります。**また他院で処方されている薬剤との併用禁忌は電カルが自動チェックしてくれないので、困っています。やはりマイナンバーカードで受付した患者さんの方から手間としての報酬をいただきたいと思います。
- 有料老人ホーム併設の在宅支援診療所です。外来も受付しておりますが、ほとんど来院する患者さんがいません。保険証確認対象の患者さんはホームに入所中の方のみで、ほとんどがマイナ保険証を持っておらず、今回導入したところでほとんど使用していないばかりか、受付まわりの配線やら何やらで手狭になったし、カードリーダーを置くワゴンを購入したりとか、果たして必要があったのかも定かではありません。訪問診療医療機関には無駄なものだったのではないのでしょうか？
- 予想以上に患者様への説明に時間が取られている。国やニュースで言っているよりもマイナンバーカードを携帯していない方が多く医療機関で使用出来る事を知らない方が多かったです。
- レセプトはとても楽になりましたが、マイナンバー確認のやり方がわからない患者さんが多く、受付業務が忙しいときに対応するのが大変。高齢の方にはむずかしそうでした。
- 病院によって機械が違うため受付での混雑が増えた。保険証の記載内容とマイナ保険証の登録が内容が異なる。

